

本と花のまち恵庭市

恵庭市の図書館について



恵庭市立柏陽中学校 2年2組 那須 和英

## ～目次～

初めに～ 1

図書館の歴史 世界 2～3

図書館の歴史 日本 4～5

恵庭市立図書館の沿革～ 6

恵庭市立図書館の概要 7～8

恵庭市立図書館の活動 9～11

学校図書館の使用割合～ 12

図書館Q&A 13～14

終わりに～ 15

## ～初めに～

今回図書館について調べたのは、私は小さいころから本が好きで、これまで数えきれないほど図書館を利用してきた。そしてその中で図書館の歴史や役割について考えるようになった。又、恵庭は本の街ということで、たくさんの活動を行っていることに興味を持った。僕自身ボランティア活動など多くの図書館行事に参加していたので、より深く調べたいと感じた。そのため今回は恵庭の図書館を中心にまとめた。



## ～図書館の歴史 世界～

私たちは図書館の存在をごく当たり前知っている。しかしそれがいつ、どこで出来たものなのか知っている人は少ないと思う。そこで恵庭の図書館の歴史について知る前に、世界の図書館について説明していく。

- ① 始まりは紀元前2500年頃、四大文明が栄え、文字や紙が発達、本が急激に増えてきた。そこで、四大文明の一つ、メソポタミ文明は、多量の情報を管理するために、本の貯蔵庫をつくった。これが図書館の起源である。
- ② 紀元前300年頃、プトレマイオス一世により、世界で初めての図書館「アレクサンドリア図書館」が出来た。大規模なものだったが、この図書館を利用できたのは、学者や役人に限られていたため、民間人が利用することはできなかった。
- ③ 紀元前39年、古代ローマでようやく民衆が使うことが出来る公共図書館が開かれた。本の入手や補充、分類などを行った、司書のような存在がいたのが特徴だ。
- ④ その後、中世のヨーロッパでは、キリスト教の普及により教会にも書館がつくられるようになった。世界中から集めた本を一つずつ写生する、とても大変なものだった。
- ⑤ 12～13世紀になると教会の図書館は衰退していった。代わりに大規模な大学に専門的な学術書をおく大学図書館が普及した。

- ⑥ 14世紀には、活版印刷の発達により、本の数が飛躍的に多くなった。それにともなって、学者や貴族が運営する図書館の規模が大きくなっていき、市民への貸し出しも増えていった。
- ⑦ 18世紀、図書館に関する法律が出来たことで、世界中に公共図書館がつくられるようになり、現在の図書館の姿に近づいていった

世界では、戦火で焼かれた図書館の再生や、資料の完全なデジタル化など現在でも多くの工夫をし続けている。図書館はこれまでも進歩してきたが、これからも進歩していくのだ。

世界で初めての図書館「アレクサンドリア図書館」↓



## ～図書館の歴史 日本～

日本の図書館の歴史と世界の図書館の歴史のちがいはあるのだろうか。そのような点についても触れながら説明していく。

- ① 日本の図書館の歴史は浅く、最古のものは**奈良時代**のものである。ここには古今の本や、**仏教の経典**が集められ、学問を行う人に解放されていた。
- ② **鎌倉～江戸時代**にかけては、力を持った武士により、**政治、文学、医学、天文学、など様々な書物**を集めた図書館がつけられた。しかし使える人は、役人や武士に限られた。
- ③ **明治時代**に入ると、西洋の技術が取り入れられるようになった。様々な人に読書の機会を提供するために、公共図書館が全国に多く設立され、「図書館令」という法律もできた。
- ④ 第二次世界大戦後、アメリカの方式を取り入れた「図書館法」が公布されたことで利用が無料になり、誰でも気軽に図書館を使用できるようになった。又一冊の教科書のみを使用することで、戦争前のような思想統一が起きないように、学校図書館の設置が義務付けられた。私たちが当然のように使っている学校図書館は、20世紀近くになるまで存在が珍しいほどだったのだ。

こうした経緯を経て日本に普及していった図書館だが、紀元前から図書館が存在した世界と違い、日本の図書館の歴史は浅い。そのため日本は図書館の後進国と言われることがある。けれども最近の図書館は、その土地の地形を生かしたものや、デジタル化したものなど世界のも負けない便利で、美しい図書館がたくさんある。これまでの歴史は浅いが、これから深くしっかりとしたものにしていくことが大切だと思った。

**日本で初めての図書館「金沢文庫」**



## ～恵庭市立図書館の沿革～

現在では恵庭市は、全国的に本の町として有名になった。恵庭図書館の初めの姿はどのような物だったのか、沿革を調べてみた。

- ① 昭和27年に、移動図書館「あけぼの号」が島松地区を巡回する。
- ② 昭和54年に、恵庭市民会館内に図書室が設置される。
- ③ 平成元年8月8日「図書館基本構想」を策定。
- ④ 平成2年11月24日建設工事開始。
- ⑤ 平成4年7月28日工事完成。
- ⑥ 平成4年7月30日市立図書館オープン。

このような歴史的な流れの中で市立図書館としてオープンした。移動図書館や図書室から市立図書館になり、多くの方の尽力と様々な活動を積極的に行うことで、恵庭市は本の町とまで言われるようになった。長い年月の中で、多くの人たちの思いが1つにまとまり現在につながっていることを強く感じた。



## ～恵庭市立図書館の概要～

恵庭市立図書館について皆さんはどれくらい知っているだろうか？蔵書数や面積など恵庭市立図書館に関する概要をまとめていく。

### 本館

- ① 延床面積  
2,081,84㎡
- ② 所在地  
恵庭市恵み野西5丁目10-2
- ③ 開館  
1992年（平成4年）7月30日
- ④ 蔵書数  
268,747冊（2011年時点）
- ⑤ 貸し出し数  
600,957冊（2011年）
- ⑥ 来館者数  
305,254人（2011年）

建物に特徴があり、半円形型で鉄筋コンクリート造り、一部二階建ての建物。1993年には北海道赤レンガ建築賞、1994年には日本図書館協会建築賞、1995年には公共建築賞の北海道地区優秀賞など、立て続けに受賞している。

## 分館

### ①面積

恵庭分館（面積281.55㎡）

島松分館（面積240㎡）

### ②所在地

恵庭分館（恵庭市緑町2丁目2番2号恵庭市交流プラザ内）

島松分館（恵庭市島松中町1丁目8番15



## ～恵庭市立図書館の活動～

恵庭市立図書館では、ブックスタートが有名だが他にもとても画期的で便利な活動がある。

### ① ブックスタート

2001年から始まった活動で、親子の触れ合いを行ってもらうため、検診時に赤ちゃんに絵本を二冊とイラストアドバイス集、赤ちゃんの好きな絵本ガイド、図書館の利用者カード、子育て支援機関紹介マップ、ラッコのコットンバッグのセットをプレゼントするという活動である。

### ② 図書館祭り

毎年秋に行われる活動で、地域の方々とのふれあいながら読み聞かせや手遊びなど、楽しいイベントが行われる。図書館の職員として仕事体験などもある。

### ③ サークル、ボランティア活動

恵庭市内の幼稚園や小学校や施設で絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇などを行っている。おはなしパンプキンやパペットグースなど数多くのグループが活動を行っている。

### ④ 図書館開館24時

2012年から始まった活動で、年に一回、午後6時から深夜0時まで開館するというもの。来館者は538名「一年に何回か行ってほしい」など大反響で、図書館は来年も実施したいと思っているそうだ。

### ⑤ 図書宅配サービス

妊婦や子供、体の不自由な方などのために立案された活動。片道300円で5冊まで本を借りることが出来、3週間借りることが出来る。

⑥ インターネットサービス

インターネットから読みたい本の予約や貸し出し状況が判る

⑦ 学校図書館配本システム

学校 ⇄ 市立図書館を配本車が運行し読みたい本が最短で1日で手元に届くシステム

⑧ 恵庭まちじゅう図書館

お店やカフェ、オフィスなどのちょっとしたスペースに、店長や経営者、スタッフのお気に入りの本を展示し、訪れた人に自由に読んでもらい、本を通じた会話を楽しむ図書館。

⑨ 特別展示本の枕（まくら）」を開催（2015.年5月）

図書館職員がおすすめの本について、その本の冒頭の書き出し部分（まくら）を印刷した紙で、表紙やタイトル、著者名を隠して行う展示を実施。

⑩ 本の福袋

子ども達の読書の幅を広げようとして図書館の職員が選定した本5冊を詰めた「本の福袋」というサービスも行っている。

これらのほかにも魅力的な活動がたくさんある。どれも便利で子どもや高齢者、障害者に優しい活動だと思った。

## ブックスタートについて

1992年イギリスのバーミンガムにおいて取り組みが始まり、日本では2000年から東京都杉並区や恵庭市を皮切りに市町村自治体の事業として始まる。

恵庭市では2000年12月から試行導入されたブックスタートは2001年4月からは完全導入された。9.10か月健診の際に絵本2冊と子育て情報が入ったブックスタートパック（カバン）をプレゼントする事業。

2007年4月から1歳6か月健診時にブックスタートプラス事業開始  
6冊の中から1冊を選んでプレゼントしている。

### 14年間使っているブックスタートの袋



## 学校司書について

子ども達が学校図書を活用し読む力を育てるため、2004年に市内8校の小学校に、2006年からは中学校5校に学校司書を配置した。それぞれ図書館と結ぶオンライン化を行った。

全国的には小、中、高のほぼ半数（文科省平成24年度学校図書館の現状に関する調査）の学校に学校司書が配置されている。その点から見ても恵庭市は図書館事業に対してとても画期的な取り組みと考える。

# ～学校図書館の使用割合～

学校図書館での中学生の本を借りている割合はどのくらいだろうか。気になったため調べてみた。

## 1. 学校図書館の貸し出し冊数の比較

小学校～120329冊

中学校～6147冊

(2007年図書館情報から)

## 2. 中学校別1人当たりの借りた本の割合

恵庭中学校～7.1冊

恵北中学校～6.4冊

恵明中学校～5.5冊

柏陽中学校～5.9冊

恵み野中学校～10.1冊

(2007年図書館情報から)

## 3. 中学校学年別利用状況

1学年 14.09 (39.5%)

2学年 11.563 (32.6%)

3学年 6.818 (19.2%) (2013年図書館要覧)

これらのことから中学生が本を借りる割合が極めて低いことがわかる。又私が通う柏陽中学校の本を借りる割合もとても低い。中学生としてこれからは学校図書館の使用も積極的に行っていきたい。

## ～図書館Q & A～

調べているうちに疑問に思ったことがあったので、図書館の方に質問させていただきました。

**Q1, 2001年(私が生まれた年)と今年のブックスタートの本は?**

A 2001年～ いない いない ばあ : 松谷みよこ作  
もうおきるかな? : まつのまさこ作  
2015年～ いない いない ばあ : 松谷みよこ作  
じゃあじゃあ びりびり : まついのりこ作

**Q2, 今後予定している新たな活動などは?**

A 先ほども出てきたが図書宅配サービスがある。最近始まったばかりの活動で、子供や妊婦に便利である。

**Q3, 図書館開館24時の反響は?**

A 「楽しかった」「初めてだったが落ち着いた雰囲気良かった」など大盛況。来年以降も継続したいと思っている。

ご多忙の中快く質問に答えてくださった図書館職員の皆様、有難うございました。



おまけ



## ～終わりに～

今回図書館についての成り立ちや歴史を調べ学んだことは、図書館の重要性だ。時代は変われど、その本質は変わらずその時代のニーズにあった形で普及していることを学んだ。また、様々な工夫で本に触れやすい環境づくりをし、より多くの人に本を見てほしいという気持ちを感じた。しかし残念ながら、中学生は図書館や学校の図書室の利用の割合が高くない。小学校では読み聞かせや朝読書で本を読む習慣が身につけていても、中学校で学年が上がるにつれ受験とも関連するのか本離れが進んでいる。さらに近年携帯電話や通信機器の普及で大人の本離れもみられる。私自身中学校に進んでからは本を読む機会が少なくなった。これからは、図書館の重要性をより提示し、私自身も、図書館を有効に使っていきたいと思った。

## ～参考文献～

- ・ 2013 図書館要覧

恵庭市立図書館

- ・ 図書館情報 2007

恵庭市立図書館

- ・ 図書館のすべてがわかる本 1 図書館のはじまり・うつりかわり

秋田喜代美／監修 こどもくらぶ／編 岩崎書店